

報告日 令和7年12月9日  
報告回次 3日目

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	上川管内電算事務共同処理協議会			代表者名	会長 山本 進
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	事務局	連絡先電話番号	0166-83-2335
担当者役職	事務局長	担当者氏名	長野泰定	連絡先E-mail	
住所	071-1511 北海道東神楽町北1条西1丁目3番16号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	東神楽町	連絡先部署	総務課	
担当者氏名	深田佑斗	連絡先電話番号	0166-83-2112	連絡先E-mail

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	DX推進の広域連携	
概要	DX推進の広域連携を推進するための職員研修に対する支援			
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） ネットワークインフラ（Wi-Fi／LPWA／光ネットワーク） テレワーク 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体セキュリティ			

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月28日	支援・助言（実地）	10時00分	12時00分	
2-2.	活動時間（分）		120		
	会場名	東神楽町役場		最寄駅	旭川空港
派遣場所	所在地	北海道上川郡東神楽町南1条西1丁目3番2号 東神楽町複合施設はのわ内		最寄駅からの交通手段	公用車で送迎

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	自治体職員として長年、情報システム部門の実務を担当され、庁内ネットワーク、情報セキュリティ対策、ICT導入など現場の細部まで熟知されています。「現場を知る専門家」としての講演には、説得力があります。
アドバイザーへの要望事項	要望事項は特にありません。満足しております。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	3人
	属性	自治体職員		
	人数	2	1	

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	当協議会を構成する上川中央部7町では、システム標準化、ガバクラ移行作業の真っ只中である。新しい環境での標準システム稼働、運用に対して不安がある。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	当協議会事務局職員にシステムベンダーを交えて、先行自治体の事例や各種検討委員の経験が豊富な高橋氏からアドバイスをもらうことで、システムベンダーは自治体に対し適切なサポートを行い、各自治体職員は標準準拠システム稼働後の業務を円滑に進めいく。 住民サービスがストップすることの無いように万全を尽くしたい。

<p>アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>令和7年11月28日(金)は、高橋邦夫氏から、過去の失敗事例を踏まえて市町村システムの標準化に関する課題と対応策について、以下のようにアドバイスをもらいました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>1. 失敗事例と課題</b> マルチベンダーや標準化対象外の調整を行った結果、連携基盤が十分に機能していない事例があったと指摘。理想的なアプローチとしては、本山さんのように中間的な立場で調整を行うことが重要。カスタマイズ要望については、初めは一自治体のみの要望だと思われたが、実際には多くの自治体が同様の要望を持ち、これが標準化を進める上での悩ましい課題。</li> <li><b>2. 具体的な事例</b> 学齢簿に関する事例として、通常は住基から成人式の案内を出すが、中学校の卒業名簿から成人式案内を出す必要があり、結果的にオプションとして実装された事例を紹介。</li> <li><b>3. EUC活用と事務改革</b> EUC(エンドユーザー・コンピューティング)の活用については、加工の必要性を問うとともに、「何に使っているかわからないもの」が引き継がれている現実を指摘。これにより、無駄な事務が続いている状況を改善すべきだと強調。 事務の簡素化に向けて、ローコードやノーコードのツールを用いての実装も可能だが、現実的に不適切な場合が多いと指摘。</li> <li><b>4. ガイドラインとPC対応</b> ガイドラインの主旨として、「すべてを画面転送に置き換えるのではなく、使える機能を分けて対応する」ことを提案。 マイナンバー系の仮想化対応について、PCリース満了を2030年まで待つのは適切ではないとし、早期対応を勧めています。例えば、PCIはLinuxでマイナンバー系のみWindowsが起動する方式などが有効。</li> <li><b>5. 自治体の要求と現実</b> 自治体職員の要望に関しては、すべてを聞いていたらキリがない、適切なバランスを取る必要あり。</li> </ol>
<p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>高橋邦夫アドバイザーの支援により、標準化に向けた各自治体向けの調整がスムーズに進み、自治体間での連携基盤が強化されます。具体的には、EUC活用の見直しや、マイナンバー対応の仮想化の検討、標準化に向けた実行可能なガイドラインの策定ができそうです。 また、システムベンダー側には、カスタマイズ要望の調整や、個別の自治体要求への適切な対応方が提案されました。</p>
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 自治体がDX推進していくにあたり情報セキュリティ対策の重要性について理解を深めるものであり、具体的な成果物はできていない。</p>
<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しどなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>解決されなかつたり持ち越しどなつたりした内容は特にありません。</p>
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は、事務局職員やシステムベンダーへのアドバイス、助言なのでアンケートは行っていません。</p>
<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある</p>
<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>地域連携を模索する機運を高め、DX推進を通じて住民サービスの向上につなげたい。</p>
<p>5. 報告書についての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 掲載許可 <input type="checkbox"/>掲載不可</p>	<p><a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/</a></p> <p><b>なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい</b></p>
<p>6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。</p>	